

MSDS 材料安全データシート  
オレフィン プレクリーン E827

改訂:2006年 3月 30日

セクション 1: ケミカル製品と会社の情報

製造元: プロフェッショナル ケミカルズ コーポレーション  
325 南ブライス ロード  
チャンドラー、アリゾナ USA 85224

連絡先: EHS Manager  
TEL: 1-480-899-7000  
FAX: 1-480-707-5661  
E-Mail: [jphilips@prochem.com](mailto:jphilips@prochem.com)  
Web [www.prochem.com](http://www.prochem.com)

-----  
製品名: オレフィン プレクリーン  
改訂月日: 2006年 3月 30日  
MSDS 番号: E827  
緊急連絡先: (800)535-5053

セクション 2: 成分、内容物データ

含有物

<u>CAS #</u>	<u>Perc.</u>	<u>ケミカル名</u>
7320345	8 - 9 %	ジフオスフォリック アシド、テトラポタジウム ソルト

セクション 3: 危険の確認

接触ルート: 目、皮膚、吸引、誤飲

対象臓器: 目、皮膚

吸引した場合: 大量に吸引した場合、呼吸器官に軽い炎症を起こす事があります。

皮膚に触れた場合: 一時的な炎症を起こすかも知れません。

目に入った場合: 一時的な炎症を起こすかも知れません。

誤飲した場合: 通常の作業での偶発的な少量の誤飲は、炎症を起こす事は稀です。多量に飲み込んだ場合は、一時的に炎症を起こす事があります。

HMIS III - 危険性等級(scale 0-4) : 健康 1 可燃性 0 物理的危険性 0

セクション 4: 緊急時の処置方法

吸引した場合: 澄んだ空気のところに出てください。もし炎症が続く場合は、医師に診せてください。

皮膚に触れた場合: 清水と石けんで洗浄してください。もし炎症が続く場合は、医師に診せてください。

目に入った場合: 大量の清水で少なくとも 15 分間洗浄してください。時にまぶたを上げて水に浸してください。すぐに医師に診せてください。

誤飲した場合: 誤飲した場合、医師の指示がないかぎり、むやみに吐かせない様にしてください。もし誤飲した人が意識があるなら、コップ 2 杯分の水を与えてください。すぐに医師に診せてください。

## オレフィン プレクリーン E827

### セクション 5: 消火方法

引火点: > 100°C

引火点測定方法: Closed Cup

消火の手順: 携帯用呼吸器具を装備し防護服を着用してください。火災のまわりを取り囲むのもっとも適した、標準的な消火剤を使ってください。

### セクション 6: 事故時の廃棄処分方法

材料が排気口や地下水に入り込まないようにしてください。不要な従業員は全て退去させてください。こぼれたエリアは滑りやすいかも知れません。こぼれた材料を不活性の材料に染み込ませ、廃棄容器に回収してください。材料の回収後、換気を良くし、こぼれた部分を洗ってください。回収した材料の処分に関し専門家に相談し、その地域の法令に従って廃棄してください。

### セクション 7: 取扱及び保管の注意

**取扱上の注意:** 皮膚や目や衣服に触れないようにしてください。通常の衛生基準を遵守してください。取り扱いに注意し、床へこぼさない様注意してください。(滑りやすくなる。) 引火の元になる所から離して取り扱ってください。使用後は十分に手を洗ってください。

**保管上の注意:** 子供の手の届かない場所に保管してください。使用後は蓋を閉め、強い酸性またはアルカリ性の材料から離れた涼しい換気の良い場所に保管してください。

### セクション 8: 暴露防止方法

**技術的コントロール:** 限定された使用には通常の室内換気で充分です。

**保護器具:** HMIS PP, B 安全メガネ、手袋

### セクション 9: 物理的及び化学的特性

**外観:** 透明なイエロー

**物理的状态:** 液体

**臭い:** 柑橘系の臭い

**pH:** 12.05

**蒸気圧:** N/D (未決定)

**蒸気密度:** N/D (未決定)

**沸点:** N/D (未決定)

**凝固点:** N/D (未決定)

**水への溶解度:** 溶解

**比重/密度:** 9.11

## オレフィン プレクリーン E827

### セクション 10: 安定性及び反応性

化学的安定性：通常の状況では安定

避けるべき条件：なし

他の物質との不親和性：なし

有害分解物質：火にこの製品をさらすと、この製品や容器から二酸化炭素、一酸化炭素、水、その他未確認の熱分解物が発生する危険があります。

有害な重合：発生せず

### セクション 11: 有害性に関するデータ

接触経路：目への接触、皮膚への接触、浸透

急性的な過度接触の影響：

目に入った場合：一時的な目の炎症、充血、涙目、目のかすみを起こします。

皮膚に触れた場合：一時的な皮膚の炎症、皮膚の脱脂状態、皮膚炎を起こします。

吸引した場合：霧や蒸気を吸うと一時的に呼吸器官に炎症を起します。めまい、倦怠感、疲労感、吐き気、頭痛等を含む一時的な中枢神経への影響。

誤飲した場合：吐き気、嘔吐、下痢を伴う一時的な胃炎を起こします。

慢性的な過度接触の影響：

暴露の限界： N/D (未決定)

催奇形性： なし

生殖毒性： なし

感作性： なし

突然変異誘発性： なし

発癌性： なし

### セクション 12: 生態学的情報

セクション 6 事故時の廃棄処分方法とセクション 15 規制情報を参照してください。

### セクション 13: 廃棄に関する考慮

地域の規制に従って廃棄処分してください。

### セクション 14: 輸送に関する情報

DOT 輸送危険分類による危険物は含まれておりません。

## オレフィン プレクリーン E827

### セクション 15: 規制情報

N/A (不適合)

### セクション 16: 他の情報

この書類は、29 CFR 1910,1200 に従う様に用意されたものです。このセクションの目的は、全てのケミカル製品または輸入製品の危険性が評価されているか確認し、その危険性に関する情報が、経営者及び従業員に伝わっているか確認する事にあります。

ここに現れている全ての情報は、原材料メーカー、あるいは認められた技術ソースによるものです。これらの情報は、正しく正確と信じられているものですが、作者はその正確性と完璧性を保証するものではありません。使用の条件はプロケムのコントロールを越えるものです。したがって使用者は、使用者の特定な条件、用途、規制の下で、使用者の特定な目的にこの製品が合うかこのデータを確認する責任があります。使用者は、製品の使用、ハンドリング、廃棄、この情報の使用、公表、等にかかる全ての危険を負うものでなければなりません。この情報は、当製品についての通常を取扱いを対象としたもので、他の材料、商品、ケミカル、コンパウンド、プロセスとの混合に使用されるものではありません。

作成者: プロケム EHS(環境健康安全)マネージャー

電話番号:(480)899-7000

以上